

インターペット ～人とペットの豊かな暮らしフェア～ 開催される

平成31年3月28日（木）から3月31日（日）までの4日間、東京ビッグサイトにおいて、（一社）ペットフード協会、（一社）日本ペット用品工業会及びメッセフランクフルトジャパン(株)主催による「第9回インターペット～人とペットの豊かな暮らしフェア～」が開催された。23の国と地域から481の出展者を集めた同イベント4日間の来場者は44,114人、犬や猫等のペットも17,986頭が飼い主とともに訪れ、会場は大いに賑わった。

本会として6回目の参加となる今回は、昨年に引き続き、ブース出展、本会主催ステージ企画及びアリーナにおけるキッズ獣医師体験企画を実施した。以下に概要を報告する。

3月30日（土）には、本会主催のステージ企画とアリーナ企画であるキッズ獣医師体験が行われた。会場内の特設ステージでは、2つの企画が開催された。「かかりつけ動物病院の院長に聞こう」では、本会の酒井健夫副会長を座長・進行役として、各地で「かかりつけ動物病院」の院長として活躍している獣医師を迎え、飼い主として日頃から心がけることや動物病院を訪れるときの工夫などを紹介する企画が催された。ゲストとして登壇した、土居祐子 ないろ動物病院院長、伊藤理子 ふじのペットクリニック院長、園尾美子 グリーンエバー動物病院院長からそれぞれの動物病院の紹介や日頃の診療で感じていることなどが紹介された後、参加者を交えた意見交換が行われた。身近なかかりつけ動物病院からの具体的なメッセージに参加者が熱心にメモを取る姿もみられた。

「心のバリアフリー」東京オリンピック・パラリンピックに向けて」では、本会の村中志朗副会長を座長・進行役として、東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて、オリンピック・パラリンピックがもたらす「心のバリアフリー」への効果や、病気や障害の有無にかかわらず、相互の自然な理解と尊重に基づく暮らしやすい社会を実現するためにできることについて考える企画が開催された。ゲストには陸上競技スプリント種目世界大会メダル獲得者の為末 大氏、尾崎治夫 東京都医師会会長、朴 善子 日本補助犬協会代表理事、小林元郎 東京都獣医師会副会長を迎え、楽しく興味深いトークショーが展開された。

「キッズ獣医師体験」では、本会と獣医学生協会(JAVS)による運営のもと、東京都獣医師会、家庭動物愛護協会及び同協会を通じて犬の派遣をいただいたSJD ドッググルーミングスクールの協力により、子どもたちを対象とした動物診療の模擬体験企画を開催し、76名の参加者が小動物診療獣医師の仕事の雰囲気を感じた。

出展ブースでは、本年10月5日に東京都駒沢オリンピック公園で開催される「2019動物感謝デー in JAPAN “World Veterinary Day”」、令和2年2月7～9日に東京・有楽町の東京国際フォーラムで開催予定の「2019年度日本獣医師会獣医学術学会年次大会」、及び「女性獣医師応援ポータルサイト」に関する展示のほか、日本獣医師会の活動紹介、獣医学教育関係情報の提供、関連グッズの配布を行った。



図1 「かかりつけ動物病院の院長に聞こう」ステージで進行役を務める酒井健夫副会長



図2 講演する土居祐子 ないろ動物病院院長



図3 講演する伊藤理子 ふじのペットクリニック院長



図4 講演する園尾美子 グリーンエバー動物病院院長



図5 「かかりつけ動物病院の院長に聞こう」ステージの様子



図6 「心のバリアフリー」東京オリンピック・パラリンピックに向けて」ステージで挨拶する村中志朗副会長



図7 村中副会長と対談する為末 大氏



図8 客席に語りかける為末 大氏



図9 客席に語りかける尾崎治夫 東京都医師会会長



図10 客席に語りかける朴 善子 日本補助犬協会代表理事



図 11 客席に語りかける小林元郎 東京都獣医師会副会長



図 12 「心のバリアフリー」東京オリンピック・パラリンピックに向けて」ステージの様子



図 13 キッズ獣医師体験で犬の健康観察をする児童



図 14 キッズ獣医師体験で犬の心音を聴く児童



図 15 キッズ獣医師体験に協力いただいた東京都獣医師会会員と日本獣医学生協会（JAVS）スタッフ